

令和6年度 指定管理施設の管理運営評価表

担当室 文化生涯学習室

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	名張市青少年センター
(2) 指定管理者 (名称、所在地)	株式会社 アドバンスコープ 名張市箕曲中村 18 番地 2
(3) 施設の利用実績 (利用者数、事業内容等)	利用件数：158 件 利用人数：30,379 人 料金収入：8,905,144 円
(4) 市支出額	指定管理料：28,518,000 円
(5) 管理運営の状況	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設等の利用の許可に関する業務 ② 施設等の利用に係る料金の收受に関する業務 ③ 施設等の維持及び修繕に関する業務 ④ 施設等の利用に際しての窓口相談に関する業務 ⑤ 主催事業の企画及び実施に関する業務 ⑥ 物品等の貸し出しに関する業務 ⑦ 市の行政施策との連携 ⑧ 施設・設備の清掃、保安等の管理業務 ⑨ 市との連絡調整及び事業報告 ⑩ その他、必要な業務

2. 事業計画の達成状況

計画区分	達成状況
平等利用の確保及びサービスの向上	<p>本来、朝日公園自由広場については、ホールの管轄外ではあるが、ホール利用者の利便性向上の為、雑木の伐採を行った。朝日公園では雑木の枝が伸び駐車スペースが圧迫されていたが、伐採により駐車スペースを10台分程確保できた。</p> <p>また、市民参加型事業である、市民文化オンステージの様子をケーブルテレビにて放送する事で、イベントへの参加意欲の向上に努めた。</p>
施設の効用の最大限の発揮（利用促進、利用者増など）	<p>貸館事業については、地域の企業に対し利用促進のチラシの配布や利用方法の説明などを行った。</p> <p>また、ケーブルテレビのニュース番組で積極的に貸館イベントの模様を放送するよう働きかけ、ads ホールの活動を広く市民に周知しました。</p> <p>一方、主催事業においては、名張市内だけでなく、伊賀市、津市、松阪市、宇陀市、曾爾村、御杖村、山添村へ出向き、学校や公共施設にチラシを配布するなどしPRを行った。</p>
施設の適切な維持管理及び経費縮減	<p>草引きや屋上を含む施設の清掃などは定期的にスタッフで実施。加えて、施設周辺の道路についても掃除を実施するなど、美観保持を実施した。</p> <p>経費削減の為、修繕など出来る限り課員で対応。ホワイトボードなど経年劣化により破損した備品も自前で修繕対応した。</p>
管理を的確に行う人的構成（組織体制等）	<p>令和6年度も、市民が気持ちよく安心して利用できるホールづくりを目指して、全体的な指揮・管理を行うセンター長を中心に、ホール運営に必要な人員を配置するとともに、普通救命講習、消防訓練、甲種防火管理者講習、電気保安講習と、安全にホール運営ができるよう教育訓練に</p>

	努めた。あわせて、舞台管理をはじめ、専門性の高い業務については、専門業者へ委託し、利用者のニーズに対応するとともに、安全安心なホール利用ができるよう体制を整えた。
--	---

3. 施設設置者（名張市）評価

<ul style="list-style-type: none">・利用者への細やかなサービス向上に努め、名張市唯一の文化施設としての役割を果たすべく、運営をしていただくとともに、指定管理者がケーブルテレビ局である強みを活かし、ニュース番組で積極的に貸館イベントの様子を放送するよう働きかけるなど、集客に努めるとともに、市民への周知をいただいた。・令和6年度には12回の自主興行を実施いただいた。「名張中学校ジュニアコンサート」や「鳥羽一郎 山川豊 木村徹二ファミリーコンサート」は、共催事業であり、収益は期待できないが、入場者数も多く、地域のニーズに合った事業であると考えらることから、今後も継続的に実施できるよう、引き続き取り組みを進めていただきたい。・年間で5回実施された「映画上映会」については、一定の集客はなされており、トータルの収支は黒字となっているものの、上映作品によって収支にばらつきがあり、大幅な黒字には結びついていない。アンケートの結果等を参考に、一層のニーズ把握に努めていただきたい。・市民参加型の2事業のうち「市民オンステージ」について、事業継続に向け、協賛企業広告を募るなど、事業実施に向け取組を進めていただいている。半面、支出過多になっている側面もあり、事業経費削減や参加費見直しなど、事業継続に向けた検討を進めていただきたい。・避難訓練や、AEDの操作に必要な講習の受講など、安全対策について必要な教育を行っていただくとともに、ステージ管理にかかる業務に職員が積極的にかかわるなど、利用者サービスの向上に向けて、全職員が一丸となって業務を進めていただいた。・ここ数年、人件費や光熱水費等の高騰による管理コストの増大が見受けられる。市においても、物価上昇を勘案し、適正な使用料の見直しを進めることとしているが、即時の対応はできないため、管理経費の削減に努めるとともに、事業収入の増収に向け、取組を進めていただきたい。
--

名張市青少年センターの管理運営業務に係る収支状況（令和6年度）

（単位：円）

区分	項目	計画額	決算額	決算額の内訳
収入	利用料金収入	8,000,000	8,905,240	
	事業収入等	12,100,000	13,955,760	入場料収入 12,190,600 事業・協賛広告 1,331,000 参加費収入 398,000 雑収入(自主事業) 36,160
	その他収入	150,000	113,030	コピー代 410 チケット販売手数料 19,735 コインロッカー使用料 700 貯金利息 8,157 名張文化協会電気代他 60,000 生命共済制度配当金 9,528 友の会収入 14,500
	市指定管理料収入	28,518,000	28,518,000	
	収入合計 (A)	48,768,000	51,492,030	
	支出	人件費	20,600,000	24,953,892
事務費		1,491,000	1,131,885	通信費(電話料金) 117,814 " (送料) 173,335 事務消耗品費 398,545 広告宣伝費 201,300 支払手数料 38,400 諸会費 35,000 旅費 0 貸借リース費 164,142 雑費 3,349
事業費		11,000,000	14,667,756	大規模事業 映画事業 市民オンステージ 大人たちのdokidokiコンサート
管理費		19,567,000	23,113,611	委託料 13,614,040 保険料 129,380 備品・消耗品費 28,006 水道光熱費 7,306,635 修繕費 776,644 消費税 1,258,906
その他支出				
支出合計 (B)		52,658,000	63,867,144	
収支 (A) - (B)		△3,890,000	△12,375,114	